資料1

＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞

砺波市行政改革報告書
（令和2年度・3年度）

＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞＜＞

この報告書は、砺波市行政改革大綱に掲げられた実施項目に関して、令和2年度に実施している事項及び令和3年度に実施を予定している事項について記載しています。

（基準日：令和2年12月31日）

令和3年2月

令和２年度　行政改革・事務改善事項

１　市民の視点に立った協働の「まちづくり」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(3) 情報の積極的な提供と共有化の推進	情報発信（第２弾先駆的シティプロモーション）強化事業 （継続）	【企画調整課】 ドローンや３６０度カメラ（動画４Ｋ）を**活用**して市の風景や市内で咲く花など**撮影し**た映像を編集し、新**たな**視点**で**の映像表現による魅力発信を図り、本市のさらなるイメージアップに努めている。

２　時代の変化に対応した効果的で質の高い「行政サービス」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 事務事業の効率化・適正化	（新規） 発行部数の見直し	【企画調整課】 「広報となみ」の発行部数について、送付先や内訳の精査を行ったことにより印刷製本費の削減を図る。 令和２年度　削減見込額　15千円
	（新規） 在宅型テレワーク制度の実施	【総務課】 新型コロナウィルス感染防止を図るため、**緊急事態宣言下において**在宅によるテレワークの試行実施を行った。 実績２２日間 また、職員の子育てや介護などと仕事との両立を支援し、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進を図るため、在宅型テレワーク制度**に拡充した。試行の実績等を検証し、本格実施に向けた検討を行う。** **延べ１３７日間**
	（新規） 時差出勤の実施	【総務課】 新型コロナウィルス感染防止を図るため、職場の出勤者１／３削減の取組みとして、午前６時半から午後９時半までの間で時差による出勤を実施した。今後は、業務内容を考慮しながら、時差による柔軟な勤務が可能か検討を行う。 延べ２５８人

修正箇所は、太字。主な変更には網掛け。

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 事務事業の効率化・適正化	（新規） ＲＰＡ等活用検討ワーキンググループの設置	【総務課】 行政の生産性を高めることを目指し、従来の事務や作業にＲＰＡ等の活用を検討するため、ＲＰＡ等を活用することができそうな事務の洗い出しを目的とした実務担当者によるワーキンググループを庁内に設置し、事務の洗い出しを行った。
	（新規） 行政手続きにおける押印の見直し	**【総務課】 市民の負担軽減、行政サービスの効率的・効果的な提供、さらには行政手続きのデジタル化への取組推進を図り、行政サービスの向上に資するため、市への提出書類等に係る押印について見直しを行った。 令和２年度　見直し様式数　　６２６様式**
	（新規） 直通電話番号の導入	**【財政課】 代表電話番号に加え、各部署へ直通電話番号を導入し、利便性の向上を図った。 令和２年１１月４日運用開始。**
	（新規） インターネット系（外部）からのデータ取込作業の見直しの検討	【税務課】 関係各課で行っている口座振替・クレジット収納等のデータをインターネット系から基幹系に取り込む作業について、収納担当課等で集中的に事務を行うことで全体の事務の効率化が図れるか検討を行った。
	家屋評価事務要領の作成（継続）	【税務課】 令和３年度評価替えに向け「砺波市家屋評価事務要領」をH30～R2年度の3か年で作成**している**。家屋評価に対するマニュアルとなるものであり、担当が異動となった場合でも速やかに評価事務を行うことができる。
	（新規） コンビニ収納及びスマホ決済の導入	【税務課・上下水道課】 更なる利用者サービスの向上と収納率アップに向け、コンビニ収納及びスマホ決済を導入した。（令和２年４月から実施） 納付件数　市税等　　　　１６，９００件 上下水道料金等　４，５００件 （令和２年１２月３１日現在）
	（新規） ふれあいデイホームの一部廃止	【社会福祉課】 高齢者の閉じこもり予防や参加者交流を目的に「ふれあい・いきいきサロン事業」と「ふれあいデイホーム事業」を実施しているが、類似事業のため、「ふれあいデイホーム事業」から「ふれあい・いきいきサロン事業」への移行に向け調整を進めてきており、東山見地区で行っているデイホーム白百合を令和２年度から廃止した。 デイホーム数　４か所→３か所

修正箇所は、太字。主な変更には網掛け。

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 事務事業の効率化・適正化	（新規） 農業委員会の委員構成の見直し	【農業振興課】 令和２年７月の委員改選で、農地利用最適化推進委員を農業委員に一本化し、対外的な責任の所在を明確にするとともに、報酬総額の縮減を図った。
	（新規） 橋梁点検の推進	【土木課】 橋梁点検２巡目に入り、全橋梁の約３割（２０５橋）を占める溝橋（ボックスカルバート）の点検を対象とした概略点検システムを導入し、直営による点検業務の経費節減と事務の効率化を図った。
	（新規） 市営住宅入居者等の収入申告時等におけるマイナンバー情報連携	【都市整備課】 市営住宅入居者等の収入申告時等に、マイナンバーの情報連携を活用して、所得証明書の添付を不要とすることで、入居者のサービス向上を図る。 令和2年10月1日から運用開始　　実績　４件
	（新規） 教育委員会事務局の本庁への移転	【教育委員会・財政課】 庄川支所にあった教育委員会事務局を、本庁（東別館）に移転させることで、児童福祉分野と学校教育分野との連携強化や、本庁と支所の往復にかかる職員の移動時間の削減を図った。 令和２年９月２３日移転。
	（新規） 財務システムにおける基本的な操作方法の庁内電子掲示板への掲載	【会計課】 財務システムの操作方法について、初心者向けとして、ＮＩコラボレーション（庁内電子掲示板）に使用頻度が高い項目から順次掲載している。
(4) ICT(情報通信技術)の有効活用	（新規） ＡＩ・５Ｇ等次世代ＩＣＴの活用についての庁内研究会の設置	【総務課】 ビッグデータやＡＩなどの先端技術を活用し、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな社会、「Society5.0」が提唱されており、２０２０年度に導入が予定されている「５Ｇ」は、ＡＩの高度化や本格的なＩｏＴ時代をもたらす技術として普及が期待されている。 こうした次世代ＩＣＴを活用し、人口減少等に伴い深刻化が想定される様々な地域課題の解決に向け取り組む研究会を庁内に設置し、研究を進めている。

修正箇所は、太字。主な変更には網掛け。

３　健全で持続可能な「財政運営」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 健全な財政運営の推進	補助金の適正化 （継続）	【財政課】 令和元年度に実施した補助金の適正化について、令和３年度の本格適用に向けて各課に検討を促している。
	各種補助金の見直しによる削減 （継続）	【財政課】 各種補助金については、順次見直しを行い、削減を図っている。 令和２年度　削減見込額　**729千円** 団体補助金分　689千円 イベント運営補助金分　40千円
(2) 公共施設等のマネジメントの推進	未利用地等の有効活用 （継続）	【財政課】 未利用の市有地等について、売却処分等の有効活用を引き続き推進する。
	（新規） 庄川水記念公園再整備検討委員会の設置	【都市整備課】 庄川水記念公園は、庄川地域の観光や交流の拠点であり、より良い施設となるよう検討を進めていく。 令和２年度　ワーキングにて意見交換　３回実施 **令和３年２月　年度総括会議を実施予定**
	公立保育所・幼稚園の施設再編 (継続)	【こども課】 高波幼稚園について令和３年３月で閉園し、北部認定こども園へ統合する。 老朽化が著しい鷹栖保育所を令和４年３月で閉園し、同年４月から民間による認定こども園を開設する。 庄川地域の４保育所については**、統合し民営化に向けた手続きを進める。** また、般若幼稚園を含む庄東地域における施設のあり方について、**引き続き民間保育所や地元との協議を行っていく。**
	児童センター・児童館のあり方 (継続)	【こども課】 出町児童センターについては、新図書館の利用状況をみながら、児童館機能のあり方について**次年度も継続して**検討を進めていく。 また、庄川地区の４館については、地元自治振興会等と協議のうえ、保育所の跡地利用を含め、統合に向けて検討していく。
	(新規) 中野幼稚園及び梅檀野幼稚園閉園後の環境整備	【こども課】 令和元年度で閉園した中野幼稚園の園舎について、地域との協議の結果、解体工事を実施する。 また、令和元年度で閉園した梅檀野幼稚園の園舎について、地域で有効活用することが決定したため**、令和２年１０月に施設譲渡した。**

修正箇所は、太字。主な変更には網掛け。

実施項目	取組事項	取組状況
(3) 自主財源の確保と創出	マイクロ水力発電による売電収入 (継続)	【上下水道課】 上中野配水場マイクロ水力発電所において発電を実施し、電力会社に対して売電することで収入を確保する。 **売電収入額　６，３８８千円** **（令和２年１２月３１日現在）**
(4) 公営企業等の健全経営の推進	（新規） 下水道事業の公営企業会計による経営	【上下水道課】 令和２年４月に、下水道事業会計を特別会計から公営企業会計に移行**した**。 中長期的な視点に立った計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上等に**取り組んでいる**。
	（新規） **下水道整備基本計画の変更**	**【上下水道課】** **砺波市下水道整備基本計画を見直し、地域によって、下水道と合併処理浄化槽による汚水処理に区分し、事業費の削減と整備期間の短縮を図った。** **事業費　　約126億円の減** **［変更前］約166億円→［変更後］約40億円** **事業期間　約43年の短縮** **［変更前］約55年　→［変更後］約12年**
	病院事業の経営健全化 （継続）	【砺波総合病院】 **病院経営に知見を有する外部委員で構成する「経営改善委員会」を１１月１１日に開催し、病院の経営改善に関する事項等について点検及び評価を行い、この概要を公表した。また、現行プランを１年延伸し、引き続きプランに基づき、良質な医療の提供に努め健全経営に取り組むこととした。**

修正箇所は、太字。主な変更には網掛け。

令和３年度 行政改革・事務改善事項

１　市民の視点に立った協働の「まちづくり」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(3) 情報の積極的な提供と共有化の推進	**（新規） ＳＮＳの活用による砺波市情報の発信**	**【企画調整課】 ＳＮＳを活用し、情報の積極的な提供と共有化を推進し、若者の定着や移住定住者の獲得に繋げる。**

２　時代の変化に対応した効果的で質の高い「行政サービス」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 人材の育成と組織機構の最適化	**（新規） 情報発信についての職員向け研修会の開催**	**【企画調整課】 全職員を対象とした、プレスリリースに限らない情報発信への意識づけを向上するための研修会を開催する。**
(2) 事務事業の効率化・適正化と働き方改革の推進	行政手続きにおける押印の見直し （継続）	【総務課】 市民の負担軽減、行政サービスの効率的・効果的な提供、さらには行政手続きのデジタル化への取組推進を図り、行政サービスの向上に資するため、市への提出書類に係る押印について、引き続き見直しを行う。
	在宅型テレワーク制度の実施 （継続）	【総務課】 令和２年度に実施したテレワーク制度試行の実績等を検証し、本格実施に向けた検討を行う。
	時差出勤の実施 （継続）	【総務課】 令和２年度に実施した時差出勤の実績と、業務内容を考慮しながら、時差による柔軟な勤務が可能か検討を行う。
	ふれあいデイホームの一部廃止 （継続）	【社会福祉課】 高齢者の閉じこもり予防や参加者交流を目的に「ふれあい・いきいきサロン事業」と「ふれあいデイホーム事業」を実施しているが、類似事業のため、「ふれあいデイホーム事業」から「ふれあい・いきいきサロン事業」への移行に向け調整を進めてきており、雄神地区で行っているデイホーム「おがみの郷」を令和３年度から廃止予定。
	（新規） がん検診予約システムの導入	**【健康センター】 がん検診予約システムを導入し、がん検診（結核・肺がん検診以外）は完全予約制とし、電話予約以外にＷＥＢ予約も可能とする。受診券に予約番号と予約システムのＱＲコードを印字し、検診を受けやすい体制をつくるとともに、予約制の検診事務の効率化を図る。**

新規の取組事項は、太字・網掛け。

実施項目	取組事項	取組状況
（２） 事務事業の効率化・適正化と働き方改革の推進	**（新規） 帳票の見直し**	**【健康センター】 胃、結核・肺、大腸のがん検診通知及び子宮がん、乳がん検診通知をそれぞれ１枚にまとめ圧着型のものとし、郵便料の軽減と送付事務の効率化を図る。**
	（新規） 農地利用集積円滑化事業の農地中間管理事業への統合	**【農業振興課】 現在砺波市農業公社が行っている「農地利用集積円滑化事業」に基づく農地の利用権設定を、一括して「農地中間管理事業」へ移行させることにより、農地の利用権設定方法を整理するとともに、業務を効率化する。**
	（新規） 水道施設台帳システムの導入	**【上下水道課】 水道法改正により、令和４年９月末までに水道施設の適切な管理と計画的な更新に努めるため、電子化された水道施設台帳システムの導入を検討する。**
	（新規） 水道施設台帳システムと下水道台帳システムの連携	**【上下水道課】 今後導入を検討している水道施設台帳システムと既存の下水道台帳システム（下水道GIS）の連携を図り、埋設位置等の照会に関してのサービスの向上と窓口業務の軽減を検討する。**
	（新規） 下水道受益者負担金（分担金）台帳のデジタル化	**【上下水道課】 下水道受益者負担金（分担金）台帳の下水道台帳システム（下水道GIS）との連携及びデジタル化を図り、賦課事務の軽減を検討する。**
	（新規） 郵便料金の支払方法の見直し	**【会計課】 月々の郵便料金の支払を小切手から口座振替に変更し、事務の効率化を図る。**
	（新規） 庄川支所の宿日直業務委託の見直し	**【地域振興課】 庄川支所では、シルバー人材センター委託による宿日直業務を行っているが、時間外の電話対応、戸籍届出受付等は本庁で対応しており、業務内容が縮小していることから、宿日直業務委託を見直し、機械警備業務委託に完全移行することで、委託料を削減できないか検討する。**

新規の取組事項は、太字・網掛け。

実施項目	取組事項	取組状況
(4) ICT(情報通信技術)の有効活用	ＡＩ・５Ｇ等次世代ＩＣＴの活用についての研究 （継続）	【総務課】 　ビッグデータやＡＩなどの先端技術を活用し、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな社会、「Society5.0」が提唱されており、２０２０年度に導入が予定されている「５Ｇ」は、ＡＩの高度化や本格的なＩｏＴ時代をもたらす技術として普及が期待されている。 　こうした次世代ＩＣＴを活用し、人口減少等に伴い深刻化が想定される様々な地域課題の解決に向け取り組む研究会を庁内に設置し、研究を進めている。
	（新規） 電子入札システムの共同利用	**【財政課】 　令和４年７月から運用開始予定の富山県電子入札システムの県内市町村の共同利用に向けて、諸準備を進める。**
	（新規） ＬＩＮＥを活用した道路状況の把握	**【土木課】 　ＬＩＮＥを活用した道路異常の通報方法をシステム化し、道路の早期補修につなげる。** 　※ＬＩＮＥ（ライン）・・・国内7,800万人が利用するコミュニケーションアプリ。無料で、友だちや家族と、トーク（チャット）・音声通話・ビデオ通話をすることができる。
	（新規） 校内通信ネットワーク及び児童生徒１人１台端末等の運用	**【教育総務課】 　国が掲げるＧＩＧＡスクール構想実現のため、令和２年度中に市内小中学校に校内通信ネットワーク及び児童生徒１人１台端末等を整備し、令和３年度から運用を行う。 　また、１人１台端末が最大限の効果を発揮することができるように小中学校全ての普通教室に電子黒板を整備し、同じく令和３年度から運用を行う。**

３　健全で持続可能な「財政運営」の推進

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 健全な財政運営の推進	各種補助金の見直しによる削減 （継続）	【財政課】 　各種補助金については、順次見直しを行い、削減を図っている。 令和３年度　削減見込額　　　2,575千円 団体補助金分　329千円 イベント運営補助金分　2,246千円
(2) 公共施設等の最適化と計画的な更新	**(新規) 本庁舎整備方針の検討**	**【財政課】 　本庁舎の整備に関する基本的な方針について、市民を交えた検討委員会を立ち上げ、方向性をまとめる。**
	(新規) 砺波チューリップ公園の再整備	**【都市整備課】 　現(旧)チューリップタワーの解体並びに屋外ステージ及び屋外ステージ前「みんなの広場」の改修(更新)。**

新規の取組事項は、太字・網掛け。

実施項目	取組事項	取組状況
(2) 公共施設等の最適化と計画的な更新	公立保育所・幼稚園の施設再編 (継続)	【こども課】 　庄川地域の４保育所については、統合し民営化に向けた手続きを進める。 また、般若幼稚園を含む庄東地域における施設のあり方について、引き続き民間保育所や地元との協議を行っていく。
	児童センター・児童館のあり方 (継続)	【こども課】 　出町児童センターについては、新図書館の利用状況をみながら、児童館機能のあり方について継続して検討を進めていく。 また、庄川地域の４館については、保育所の跡地利用を含め、統合に向けて協議を行っていく。
	(新規) 庄川美術館及び庄川水資料館の機能移転	**【生涯学習・スポーツ課】 　令和３年度に砺波市美術館運営協議会ワーキンググループ「庄川美術館等のあり方検討委員会」を立ち上げ、機能移転方針を検討する。**
(3) 自主財源の確保と創出	コンビニ収納及びスマホ決済の実施 (継続)	【税務課・上下水道課】 　コンビニ収納及びスマホ決済を実施し、更なる利用者サービスと収納率の向上を図る。
	マイクロ水力発電による売電収入 (継続)	【上下水道課】 　上中野配水場マイクロ水力発電所において発電を実施し、電力会社に対して売電することで収入を確保する。
(4) 公営企業等の経営戦略の推進	病院事業の経営戦略の推進 (継続)	【砺波総合病院】 　市立砺波総合病院新改革プランに基づく病院経営の実施及び検証を行うとともに、国から示されるガイドラインに基づく新たな病院改革プランを策定する。

新規の取組事項は、太字・網掛け。